市内中学生が、夏の全国大会と関東大会で 活躍しました。

松山中学校

ソフトテニス 全国大会優勝 関東大会優勝



■女子団体 (後列左から) **血辺孝好コーチ** たがませいたさん 全野夏葵さん 皆上心さん 高橋彩月さん (前列左から) 佐藤愛さん 黒沢崩花さん 庭田咲月さん 篠澤真耶さん

■安子個人

黛説崩花さん・佐藤愛さん ペア 庭由峡門さん・篠澤真耶さん ペア 関東大会5位 全国大会5位 管上心さん・蓄橋彩月さん ペア

関東大会2位 全国大会3位 関東大会出場

ソフトテニスの関東大会出場



(左から) **芷亜倫太郎さん** 新居坊色さん 昼間悠佑さん 着祖上遠樹さん が
位在
気動さん 間血感費さん 伊藤桐Čさん 村由琥珀さん 中澤嘉春監督

■第子個光

萱間悠佑さん・道祖上滉樹さん ペア

吹奏楽の西関東大会銅賞



(3列自左から)長谷川陽瀬さん、戸野麻衣さん、小宮優奈さん、今村心音さん、 血中海音さん、 金内嘉子さん (2列目左から)本澤昭子さん(副顧問)、北原奈実さん、濱村海璃さん、宮本彩季さん、粕川碧彩さん、山田乃 **愛さん、松声辞菜さん、酢藤柏依さん、伊藤ゆらさん**

(1列目左から)飯野愛果さん、水本選菜さん、黒澤紀香さん、小澤杏紗さん、山田優華さん(顧問)、佐藤愛さ ん、田崎陽光さん、小柳雛子さん、岡部詩子さん







卓球(関東大会出場





100 50

卓球の関東大会出場



白山中学校



新体操
製東大会出場



1966 (昭和41)年7月、大字松山に東松山庭球場が完 成し、翌年10月に第22回国民体育大会(埼玉国体)の軟 式庭球の会場となりました。8面のコートと2千5百人を収 容できる庭球場は、当時としては他に類をみない立派なも のでした。また、選手団の輸送や宿泊、観光接待など、市民 が一致協力してこの大会を支えました。競技は4日間にわ たって熱戦が繰り広げられ、観客席は連日超満員でした。

選手団の多くは市民有志の自宅に宿泊し、こ の縁で選手団と市民の交流が続いたんだよ。



種目別総合優勝は東京! 埼玉県は僅差で2位だったんだ。

キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布され た学習漫画『漫画でわかる 梶 田隆章先生とニュートリノ』の キャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



ミューやん

型花(姉) 歩(弟)



梶田隆章先生

埼玉国体開催

1967(昭和42) 年

競技は一般男子、一般女子、

高校男子、高校女子、教員の

5種目だったよ!



東松山市生まれ。東京 大学宇宙線研究所所長• トリノ振動の発見を発 表。2015年にノーベル

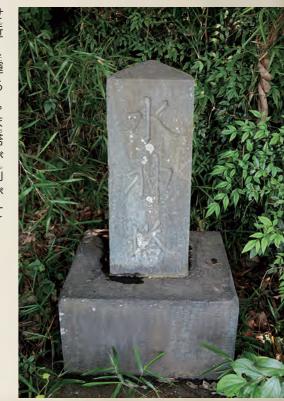
江戸時代、建物のほとんどは木造であり、生活に木材は欠かせ ないものでした。そのため、江戸では多くの木材を必要とし、近 郷の道々から切り出された木材は筏に組まれ、都幾川、越辺川、 入間川、荒川を経由し、木場(現東京都江東区)まで水運により運 ばれました。途中、いくつかの中継地点があり、都幾川に架かる 上唐子月田橋周辺は、川幅が広く、筏の集積地(土場)の一つでした。

その都幾川の左岸、月田橋のたもとに水神塔が建てられていま す。水神塔とは水の神様を祀った石造物や祠の総称です。水神塔 側面には「上唐子郡筏連中」と刻まれ、筏連17か村48人の名前が みえます。現在の東松山市域の住人だけではなく、小川町、嵐山 町、玉川村(現ときがわ町)と広域にわたっており、筏乗りたちが 安全を祈願して合同で建てたものとわかります。年号は刻まれて

いませんが、昭和 55(1980)年の 調査時に、刻まれ た名前が六代前で あったことから、 文 敬 年 間(1820 年頃)に建てられ たものと推測され ています。



月田橋から都幾川を望む



水神塔

☆27 - 03333 M27 - 0333 M27 - 03333 M27 - 0333 27